

# 健康生活支援課

## V 健康生活支援課の業務概要

### 1. 健康危機管理事業

地域における健康危機管理の拠点として、平常時は感染症・食中毒・飲料水等による健康危機の発生予防に努めるとともに、健康危機発生時には、速やかに健康危機管理体制に移行し、情報の収集、原因の究明のための調査及び検査の実施、医療の確保、健康相談窓口の開設等の対策を実施した。

ME R S（中東呼吸器症候群）への対策として、患者発生時を想定し、感染症指定医療機関と合同で患者移送訓練を実施した。また、地域健康危機管理推進会議を開催し、ME R S（中東呼吸器症候群）の国内発生時の対応について、警察署、消防署、管内市町等関係機関に周知し連携の強化を図った。さらに、麻しん（はしか）と薬剤耐性（AMR）に関する感染症対策について講演会を開催し、施設関係者や医療機関等の関係機関に対しての知識の普及や予防策等の啓発を図った。

### 2. 疾病対策事業

#### （1）結核予防事業

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、結核患者で排菌者が発生した場合には、まん延を防止するため応急入院勧告、就業制限勧告等を行うとともに、積極的疫学調査による接触者健診を実施し、発見された発病者、感染者への治療の徹底と要観察者への指導を行った。

また、結核患者の病状管理及び治療中断防止のため訪問・面接指導・DOTS を行うとともに、治療終了後も管理検診による再発者の確認に努めた。

#### （2）感染症予防事業

感染症発生時には速やかに医療機関と連携を図り、有症者・接触者の健康状況調査、検便及び環境調査等を実施し、感染の拡大防止・感染経路の調査を行った。

健康危機管理事業としてME R S（中東呼吸器症候群）の発生時の患者移送訓練や麻しん（はしか）と薬剤耐性（AMR）に関する感染症対策の講演会を開催し、医療機関や関係機関に対して知識の普及や予防策等の啓発を図った。

法の趣旨を踏まえ平常時の防疫対策として、食品関係従事者、集団給食従事者、水道施設従事者等に定期検便の実施を勧奨した。

#### （3）エイズ予防対策事業

個人のプライバシーに配慮した相談体制と検査体制を充実させるとともに、主に若年層を対象に講習会やキャンペーン活動等とおして、普及啓発活動を行った。

また、「千葉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業」に基づき、検査受検者への制度の周知に努めた。

#### （4）原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年 2 回実施し、健康の保持増進を図った。

### 3 生活衛生事業

#### (1) 食品衛生事業

当センター管内では、温暖な気候を利用した観光用の花卉栽培が盛んで早春から多くの観光客が訪れ、夏期には避暑や海水浴等を目的とした観光客で賑わう。そのため、海浜地区を中心として多くのホテル、旅館等の宿泊施設が営業している。

近年はいわゆる道の駅等地域の特産物を販売する大型観光地施設が増加するとともに、ショッピングモールや大型スーパーマーケットの進出も見られ、多種多様な食品が流通する一方で、小規模小売店舗や季節営業の簡易宿所が減少している。

このような状況の中、食品等営業施設に対して地区別に一斉監視を実施するとともに、業種別、施設別の重点監視を実施し、食品衛生管理の徹底指導及び自主衛生管理の強化促進を図った。

また、食品営業者や消費者に対し食中毒予防や食品表示等に関する講習会を開催し、食品衛生の普及向上を図った。

#### (2) 狂犬病予防事業及び動物愛護管理事業

##### ① 狂犬病予防事業

狂犬病予防法及び千葉県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき下記の業務を実施した。

- ア 放し飼い禁止の啓発と違反飼主への指導
- イ 不適正な飼養に起因する苦情への対応
- ウ 放浪犬・逸走犬の捕獲抑留及び飼養者への返還と指導
- エ 犬による咬傷事故を未然に防ぐための指導
- オ 咬傷犬の狂犬病の病性鑑定、再発防止のための措置

##### ② 動物愛護管理事業

動物への愛護精神と適正な飼養管理について県民への普及を図り、殺処分数の減少、遺棄、虐待の防止、また、動物による侵害防止を目的に「動物の愛護及び管理に関する法律」と千葉県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、下記の業務を実施した。

- ア 住民へ適正飼養の普及啓発、多頭飼養届及び指導
- イ 負傷動物の保護・収容
- ウ 飼えなくなった犬・ねこの引取り及び終生飼養の指導
- エ 動物取扱業の登録届出及び指導
- オ 特定動物飼養の許可及び適正飼養の確認
- カ 犬猫の多頭飼養届及び現地確認
- キ 「動物愛護教室」「犬の正しい飼い方・しつけ方教室」の開催
- ク 出会いの場広報（インターネットを利用した新しい飼主探し）

#### (3) 環境衛生事業

地域住民や観光客等多くの人が利用する旅館、公衆浴場、理容所、美容所、クリーニング所等の生活衛生関係営業施設のほか、水道施設、特定建築物、プール、温泉等に対して監視指導を実施した。

管内には年間を通じて観光客が訪れるため従前から旅館が多く、また温泉も多く存在し旅館や公衆浴場等の入浴施設で利用されていることから、レジオネラ症発生防止対策として、特に浴槽水等水質検査の実施及び循環ろ過装置の適正管理を指導した。

<疾病対策に関すること>

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1- (1) 登録者数の年次推移 (単位:人)

区分		年	平成	平成	平成	平成	平成	平成	
			16年	21年	26年	27年	28年	29年	30年
管内人口			142,618	136,507	129,753	128,510	126,901	125,084	123,153
新登録患者数			35	29	21	20	18	7	11
年末時登録者数			61	94	64	58	47	29	23
結核死亡者数	管内		1	2	2	2	-	3	1
	千葉県		78	62	83	68	71	75	82
結核死亡率 (人口10万対)	管内		0.7	1.5	1.5	1.6	-	2.4	0.8
	千葉県		1.5	1.2	1.6	1.3	1.3	1.4	1.6
罹患率 (人口10万対)	管内		24.5	21.2	16.2	15.6	14.2	5.6	8.9
	千葉県		21.4	17.2	13.8	13.7	14.2	11.9	12.0
有病率 (人口10万対)	管内		17.6	14.7	9.2	7.0	10.2	1.6	7.3
	千葉県		18.9	11.9	8.8	9.0	9.1	7.3	7.7

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10万 /人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万 /人口

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核				肺 活 外 動 結 核 性	（ 罹 人 口 10 患 万 対 ） 率	占 塗 肺 め る 抹 結 割 合 陽 核 （ % ） の ち	無 症 状 病 原 体 保 有 者 （ 潜 在 性 結 核 感 染 症 ）	疑 似 症 患 者	の 結 死 核 死 亡 者 体	の 結 死 核 死 亡 疑 い 者 体
			計	活 動 性 肺 結 核									
				陽 喀 痰 塗 性 抹	結 核 菌 陽 性	そ の 他 の 性							
平成28年	18	10	8	1	1	8	14.2	44.4	28	-	-	-	
平成29年	7	4	4	-	-	3	5.6	100.0	16	-	-	-	
平成30年	11	10	3	5	2	1	8.9	30.0	21	-	-	-	
館山市	4	3	1	2	-	1	8.7	33.3	8	-	-	-	
鴨川市	5	5	2	2	1	-	15.3	40.0	11	-	-	-	
南房総市	2	2	-	1	1	-	5.4	0.0	2	-	-	-	
鋸南町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核				肺 活 外 動 結 核 性	不 活 動 性 結 核	不 明	（ 有 人 口 10 病 万 対 ） 率	（ 潜 在 性 結 核 感 染 症 ） （ 別 掲 ）		
			計	活 動 性 肺 結 核							無 症 状 病 原 体 保 有 者 （ 別 掲 ）	治 療 中	観 察 中
				陽 喀 痰 塗 性 抹	結 核 菌 陽 性	そ の 他 の 性							
平成28年	47	13	6	1	-	6	13	21	10.2	25	71		
平成29年	29	2	2	-	-	-	15	12	1.6	7	34		
平成30年	23	9	4	2	2	1	7	7	7.3	16	14		
館山市	7	4	3	-	-	1	-	3	8.7	5	7		
鴨川市	7	3	1	1	1	-	3	1	9.2	9	4		
南房総市	9	2	-	1	1	-	4	3	5.4	2	2		
鋸南町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表1-(4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成 28 年		18	-	-	-	2	-	-	4	4	7	1
平成 29 年		7	-	-	-	-	-	-	-	1	4	2
平成 30 年		11	-	-	2	-	1	-	2	3	3	-
館山市		4	-	-	-	-	-	-	1	2	1	-
鴨川市		5	-	-	-	-	1	-	1	1	2	-
南房総市		2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
鋸南町		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表1-(5) 年末時登録者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成 28 年		47	-	-	1	5	5	2	10	8	10	6
平成 29 年		29	-	-	-	2	3	1	7	3	9	4
平成 30 年		23	-	-	2	1	1	-	4	4	9	2
館山市		7	-	-	-	-	-	-	2	2	2	1
鴨川市		7	-	-	-	1	1	-	1	-	3	1
南房総市		9	-	-	2	-	-	-	1	2	4	-
鋸南町		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(6) 患者面接実施状況

表1- (6) 患者面接実施状況

年		区分	人数 (人)	DOTS 内容 (延件数)											
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性			潜在性結核		
				入院時			退院後			訪問面接	所内面接	電話・その他	訪問面接	所内面接	電話・その他
				訪問回数	左の内訳		訪問面接	所内面接	電話・その他						
初回	期間内	退院前													
平成 28 年	保健師	4	17	6	9	2	25	21	53	32	6	42	24	22	106
	DOTS 支援員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成 29 年	保健師	4	2	2	-	-	17	6	26	13	3	17	7	16	158
	DOTS 支援員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成 30 年	保健師	4	8	3	4	1	9	0	1	39	3	25	18	7	69
	DOTS 支援員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成 30 年 患者数 (人)			3						8			21			

(7) DOTS実施状況

表1- (7) DOTS実施状況

(単位: 人)

年		区分	全 結 核 患 者			潜在性結核 感染症
				肺結核患者 (再掲)		
				肺結核患者 (再掲)	肺結核喀痰塗抹陽性患者 (再掲)	
平成 28 年	実施者数	18	10	8	28	
	患者数※	18	10	8	28	
平成 29 年	実施者数	21	2	2	16	
	患者数※	21	2	2	16	
平成 30 年	実施者数	5	2	2	16	
	患者数※	5	2	2	16	

※前年の新登録患者数 (転入者を含み, 治療開始1カ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成 27 年 1 月 7 日付け健感発 0107 第 1 号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について (情報提供)」を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1-(8)-ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ② / ① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異 常 な し	発 病 の お そ れ	潜 在 性 結 核 感 染 症	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 28 年	91	91	100.0	99	86	-	11	1	1	88	-	3	-	-
平成 29 年	21	21	100.0	37	27	-	10	-	-	19	-	2	-	-
平成 30 年	4	4	100.0	4	4	-	-	-	-	3	-	1	-	-
保 健 所	/			1	1	-	-	-	-	/				
委 託 分				3	3	-	-	-	-					
そ の 他				-	-	-	-	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

イ 接触者健診実施状況

表1-(8)-イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ② / ① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異 常 な し	発 病 の お そ れ	潜 在 性 結 核 感 染 症	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 28 年	271	271	100.0	287	225	-	60	1	1	268	-	3	-	-
平成 29 年	139	139	100.0	144	130	-	12	1	1	135	-	4	-	-
平成 30 年	148	148	100.0	164	152	-	12	-	-	145	-	3	-	-
保 健 所	/			114	109	-	5	-	-	/				
委 託 分				49	43	-	6	-	-					
そ の 他				1	-	-	1	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上



(9) 管理健診実施状況

表1-(9) 管理健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果(実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
平成28年	118	95	80.5	170	168	1	1	48	47	-	-
平成29年	67	65	97.0	87	85	1	1	38	27	-	-
平成30年	36	33	91.7	41	39	1	1	11	25	-	-
保健所	/			6	6	-	-	/			
委託分				27	25	1	1				
その他				8	8	-	-				

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
				本人			家族			保険											
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成28年	71	71	-	38	38	-	3	3	-	14	14	-	16	16	-	-	-	-	-	-	-
平成29年	54	54	-	27	27	-	6	6	-	4	4	-	17	17	-	-	-	-	-	-	
平成30年	51	51	-	29	29	-	2	2	-	10	10	-	10	10	-	-	-	-	-	-	

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総数	被用者保険			国民健康 保 険	後期高齢者	生活保護法	そ の 他
		本 人	家 族					
平成28年	11	-	1	-	10	-	-	
平成29年	9	-	1	-	8	-	-	
平成30年	5	-	-	1	2	1	1	

※本表は実人数で計上

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

年 \ 区分	総数
平成28年	11
平成29年	6
平成30年	5

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

年 \ 区分	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長勧告通知数 (20条第4項)
平成28年	11	10	7
平成29年	6	6	3
平成30年	5	5	1

表1-(11)-ウ 入院措置数

(単位:件)

年 \ 区分	入院措置数
平成28年	-
平成29年	-
平成30年	-

## (12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位:件)

年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm未満	30mm以上	未就学児	小学生	その他
平成28年	-	-	-	-	-	-	-	-
平成29年	-	-	-	-	-	-	-	-
平成30年	-	-	-	-	-	-	-	-

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位:件)

年	IGRA検査数(延件数)		結果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
平成28年	246	65	293	13	5	-
平成29年	133	24	148	3	6	-
平成30年	116	48	147	3	14	-

## (13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況

(単位:件)

年	総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成28年	33	157	13	53	20	104
平成29年	14	66	4	14	10	52
平成30年	11	31	5	6	6	25

## (14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1-(14) 定期結核健康診断実施報告状況

(単位：人)

年 区分	項目	対象者数 ①	健診者数 ②	健診率 ②/① (%)	間接撮影 件数	直接撮影 件数	喀痰検査 件数	発病のおそれ がある者の 数	患者発見 数③	患者発見 率 ③/② (%)
	平成 28 年		59,295	19,309	32.5	1,806	17,527	1	-	-
平成 29 年		62,853	21,912	34.9	1,939	19,973	9	-	-	-
平成 30 年		63,935	23,176	36.2	1,985	21,193	9	-	-	-
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)	1,304	1,303	99.9	175	1,128	-	-	-	-
	施設長 福祉施設入所者 (65歳以上)	1,260	1,238	98.3	361	877	-	-	-	-
	施設長 その他施設 入所者	0	0	0.0	0	0	-	-	-	-
	事業者	9,935	9,303	93.6	1,449	7,856	9	-	-	-
	市町村長	51,436	11,332	22.0	-	11,332	-	-	-	-

## 2 感染症予防事業

### (1) 1類感染症発生状況

表2- (1) 1類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
平成30年	-	-	-

### (2) 2類感染症発生状況 (結核は除く)

表2- (2) 2類感染症発生状況 (発生届受理数) 単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
平成30年	-	-	-

### (3) 3類感染症発生状況

表2- (3) 3類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

病類 年・市町村	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性	腸チフス	パラチフス
				大腸菌 感染症		
平成28年	1	-	-	1	-	-
平成29年	3	-	-	3	-	-
平成30年	65	-	-	65	-	-
館山市	21	-	-	21	-	-
鴨川市	2	-	-	2	-	-
南房総市	31	-	-	31	-	-
鋸南町	2	-	-	2	-	-
その他 (管外)	9	-	-	9	-	-

## (4) 4類感染症発生状況

表2- (4) 4類感染症病発生状況 (発生届受理数)

(単位:人)

疾患名	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
1 E型肝炎	-	-	-
2 ウエストナイル熱	-	-	-
3 A型肝炎	-	-	1
4 エキノコックス症	-	-	-
5 黄熱	-	-	-
6 オウム病	-	-	-
7 オムスク出血熱	-	-	-
8 回帰熱	-	-	-
9 キャサナル森林病	-	-	-
10 Q熱	-	-	-
11 狂犬病	-	-	-
12 コクシジオイデス症	-	-	-
13 サル痘	-	-	-
14 ジカウイルス感染症	-	-	-
15 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフ レボウイルス属SFTSウイルスであ るものに限る。)	-	-	-
16 腎症候性出血熱	-	-	-
17 西部ウマ脳炎	-	-	-
18 ダニ媒介脳炎	-	-	-
19 炭疽	-	-	-
20 チグングニア熱	-	-	-
21 つつが虫病	17	19	40
22 デング熱	-	-	-
23 東部ウマ脳炎	-	-	-
24 鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ (H5N1 及びH7N9)を除く)	-	-	-
25 ニパウイルス感染症	-	-	-
26 日本紅斑熱	9	7	10
27 日本脳炎	-	-	-
28 ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29 Bウイルス病	-	-	-
30 鼻疽	-	-	-
31 ブルセラ症	-	-	1
32 ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33 ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34 発しんチフス	-	-	-
35 ボツリヌス症	-	-	-
36 マラリア	-	-	-
37 野兎病	-	-	-
38 ライム病	-	-	-
39 リッサウイルス感染症	-	-	-
40 リフトバレー熱	-	-	-
41 類鼻疽	-	-	-
42 レジオネラ症	1	4	4
43 レプトスピラ症	2	-	-
44 ロッキー山紅斑熱	-	-	-

※14の疾患は平成28年2月より届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況(発生届受理数)

(単位:人)

疾患名		平成28年	平成29年	平成30年
1	アメーバ赤痢	1	3	-
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	-	-	-
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	1	10
4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	-	-
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎, 西部ウマ脳炎, ダニ媒介脳炎, 東部ウマ脳炎, 日本脳炎, ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	3	-	-
6	クリプトスポリジウム症	-	-	-
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	1
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	-	2
9	後天性免疫不全症候群	2	-	-
10	ジアルジア症	-	-	-
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	-	2
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
13	侵襲性肺炎球菌感染症	14	13	17
14	水痘(入院例に限る。)	-	-	2
15	先天性風しん症候群	-	-	-
16	梅毒	6	-	5
17	播種性クリプトコックス症	1	-	2
18	破傷風	1	-	1
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-
21	百日咳	-	-	1
22	風しん	-	-	3
23	麻しん	-	-	1
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

※ 4の疾患は平成30年5月より届出の対象となった。

※ 21の疾患は平成30年1月より届出の対象となった。

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数 (単位:箇所)

インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症	基幹	疑似症
7	4	1	1	1	7

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況 (単位:人)

	疾患名	平成28年	平成29年	平成30年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	1424	1463	1847
2	RSウイルス感染症	14	24	7
3	咽頭結膜熱	8	14	22
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	129	80	152
5	感染性胃腸炎	481	335	469
6	水痘	29	15	14
7	手足口病	100	160	30
8	伝染性紅斑	45	3	7
9	突発性発しん	23	20	31
10	ヘルパンギーナ	39	14	22
11	流行性耳下腺炎	14	7	9
12	急性出血性結膜炎	1	1	4
13	流行性角結膜炎	18	20	31
14	性器クラミジア感染症	-	-	1
15	性器ヘルペスウイルス感染症	-	-	-
16	尖圭コンジローマ	-	-	1
17	淋菌感染症	-	-	-
18	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	-	-	-
19	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	1	-
20	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌,肺炎球菌,インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	15	11	5
21	マイコプラズマ肺炎	3	1	-
22	無菌性髄膜炎	22	17	25
23	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	15	19	22
24	メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染症	44	48	65
25	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-



(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	1	1	-	1
検体提供数 (件)	9	8	-	6

(6) その他

表 2 - (6) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位：件)

年度 区分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
			学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
平成 28 年度	42	566	17	23	2	-
平成 29 年度	60	903	20	39	1	-
平成 30 年度	34	581	14	20	-	-
幼 稚 園	2	15	1	1	-	-
小 学 校	22	335	11	11	-	-
中 学 校	9	198	2	7	-	-
高 等 学 校	1	33	-	1	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-

(7) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表 2 - (7) - ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度	病類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 30 年度		-	-	-

イ 2類感染症

表 2 - (7) - イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況 (結核は除く)

年度	病類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 30 年度		-	-	-

ウ 3類感染症

表 2 - (7) - ウ 3類感染症発生に伴う患者健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人)，検便(件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌 感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
平成 28 年度	5	6	-	-	-	-	5	6	-	-	-	-	-
平成 29 年度	4	4	-	-	-	-	4	4	-	-	-	-	1
平成 30 年度	498	591	-	-	-	-	498	591	-	-	-	-	90

エ 4類感染症

表 2 - (7) - エ 4類感染症患者健康調査状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
平成 30 年度	A型肝炎	2
	つつが虫病	35
	日本紅斑熱	4
	レジオネラ症	4

オ 5類感染症

表 2 - (7) - オ 5類感染症患者健康調査状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
平成 30 年度	インフルエンザ	298
	感染性胃腸炎	212
	麻疹	1
	風疹	1

(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査(人))

区分 年度	総 数	管外での感染症 発生に伴う調査数 (検査通報除く)	自主申告による 調査数	検疫通報に伴う 接触者及び同行者 調査数	検便実施者数 (件)	検出菌			
						コレラ	赤痢	O157	その他
平成28年度	5	5	-	-	3	-	-	-	-
平成29年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成30年度	126	126	-	-	2	-	-	-	-

(9) 衛生研究所への検査依頼数

表2-(9) 衛生研究所への検査依頼数 (単位：件)

区分	疾患名	結果		計
		陽性	陰性	
平成30年度	日本紅斑熱	13	9	22
	つつが虫病	2	-	2
	デング熱	-	1	1
	急性弛緩性麻痺	-	2	2
	麻しん	2	21	23
	風しん	3	10	13
	感染性胃腸炎	20	2	22

(10) 就業制限通知数（結核を除く）

表2-(10) 就業制限通知数

(単位：件)

区分 年度	疾患名			計
	腸管出血性大腸 菌感染症	細菌性赤痢	腸チフス	
平成28年度	1	-	-	1
平成29年度	2	-	-	2
平成30年度	64	-	-	64

(11) 感染症予防啓発活動実施状況

表2-(11) 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
6月18日	館山市コミュニティセンター 第1集会室	麻しん（はしか）とその対策について	医療機関，教育機関，行政，社会福祉施設他	88
7月11日	特別養護老人ホーム内多目的ホール	感染症予防と対応について	社会福祉法人 法人施設職員	48
2月15日	南総文化ホール 大会議室	薬剤耐性（AMR）対策について	医療機関，歯科診療所，薬局，行政，社会福祉施設他	80

(12) 感染症健康危機管理事業

表2-(12)-ア 地域健康危機管理推進会議開催状況

開催日	参加人数	主な内容
2月20日	13	中東呼吸器症候群（MERS）対策

表2-(12)-イ 新型インフルエンザ等訓練，その他の会議

開催日	参加人数	主な内容
2月20日	24	中東呼吸器症候群（MERS）患者移送訓練

### 3 エイズ対策事業

#### (1) エイズ予防啓発活動実施状況

##### ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数 (人)
平成30年 7月6日(金)	鋸南町立 鋸南中学校	講習会 講師:助産院ねむ ねむ 助産師	大切にしたい 自分の心とカ ラダ～輝くい のちのために ～	鋸南町立 鋸南中学校 2,3年生 教職員	105
平成30年 7月6日(金)	南房総市立 千倉中学校	講習会 講師:亀田ファミ リークリニック 館山 医師	大人になる前 に知ってほし い性のはなし	南房総市立 千倉中学校 3年生 教職員	91
平成30年 7月10日(火)	南房総市立 富山中学校	講習会 講師:亀田ファミ リークリニック 館山 医師	性って何だろ う?	南房総市立 富山中学校 2,3年生 教職員	78
平成30年 7月13日(金)	館山市立 第二中学校	講習会 講師:ファミリー 産院 助産師,看 護師	大切にしたい 自分・こころ・ からだ	館山市立 第二中学校 3年生 教職員	99
平成30年 7月18日(水)	館山市立 第一中学校	講習会 講師:亀田ファミ リークリニック 館山 医師,助産 師	性教育教室 幸せになるた めに知ってお く3つのこと	館山市立 第一中学校 3年生 教職員	78
平成30年 7月19日(木)	南房総市立 富浦中学校	講習会 講師:ファミリー 産院 看護師	中学生で知っ ておきたい性 について	南房総市立 富浦中学校 3年生 教職員	38
平成30年 7月19日(木)	国立館山 海上技術学校	講習会 講師:助産院ねむ ねむ 助産師	知っておきた い性と健康～ よりよく生き るために～	国立館山 海上技術学校 3年生 教職員	41

平成30年 9月18日(火)	南房総市立 嶺南中学校	講習会 講師:湘南鎌倉総合病院 医師	自分と相手を大切にすることで?～えんみちゃんからのメッセージ～	南房総市立 嶺南中学校 3年生 教職員	85
平成30年 12月19日(水)	千葉県立 長狭高等学校 (全日制)	講習会 講師:助産院ねむねむ 助産師	大切にしたい自分の心とカラダ～性と健康に向き合おう～	千葉県立 長狭高等学校 (全日制) 3年生 教職員	168
平成30年 12月19日(水)	千葉県立 長狭高等学校 (定時制)	講習会 講師:助産院ねむねむ 助産師	大切にしたい自分の心とカラダ～性と健康に向き合おう～	千葉県立 長狭高等学校 (定時制) 全校生徒 教職員	38
平成30年 12月20日(木)	千葉県立 館山総合高等学校 (定時制)	講習会 講師:ファミリー産院 助産師,看護師	高校生で知っておきたい性について	千葉県立 館山総合高等学校(定時制) 全校生徒 教職員	23
平成31年 2月18日(月)	千葉県立 安房特別支援学校 館山聾分校	講習会 講師:ファミリー産院 助産師,看護師	知っておきたい性について	千葉県立安房特別支援学校 館山聾分校 全校生徒 教職員	23
平成31年 3月8日(金)	館山市立 房南中学校	講習会 講師:助産院ねむねむ 助産師	自分の心とカラダ～輝く生命のために～	館山市立 房南中学校 3年生 教職員	26

イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表 3 - ( 1 ) - イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
平成 30 年 11 月 19 日 平成 30 年 11 月 25 日～ 平成 30 年 12 月 1 日	夜間エイズ検査 学校訪問，リーフレット等配布 中学校：館山市立第三中学校，館山市立房南中学校 鴨川市立鴨川中学校，南房総市立嶺南中学校，南房総市立三芳中学校 小学校：鴨川市立小湊小学校 その他：安房特別支援学校（高等部，中等部），国立館山海上技術学校 亀田医療大学，亀田医療技術専門学校

( 2 ) エイズ相談受付状況

表 3 - ( 2 ) エイズ相談受付状況 ( 単位 : 件 )

年度	性別	相談方法	性別		小計	合計
			男	女		
平成 28 年度		電話相談	8	6	14	72
		来所相談	33	25	58	
		その他	-	-	-	
平成 29 年度		電話相談	9	4	13	56
		来所相談	27	16	43	
		その他	-	-	-	
平成 30 年度		電話相談	4	1	5	56
		来所相談	30	21	51	
		その他	-	-	-	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況 (単位：件)

年度 年齢階級		性別		合計	外国籍 者数(人)	確認検査 件数
		男	女			
平成28年度		31	22	53	1	-
平成29年度		27	16	43	-	2
平成30年度		29	20	49	1	-
年 齢 階 級	～19歳	1	1	2	-	-
	20歳～29歳	11	8	19	-	-
	30歳～39歳	4	6	10	1	-
	40歳～49歳	3	3	6	-	-
	50歳～59歳	6	2	8	-	-
	60歳～69歳	3	0	3	-	-
	70歳～	1	-	1	-	-
	不明	-	-	-	-	-

表3-(3)-イ 性感染症・肝炎検査受付状況 (単位：件)

年度	検査 性別	クラミジア検査			梅毒検査			肝炎検査					
								C型肝炎検査			B型肝炎検査		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成28年度		48	27	21	51	29	22	51	29	22	51	29	22
平成29年度		34	22	12	34	23	11	37	23	14	38	24	14
平成30年度		41	25	16	47	27	20	51	28	23	51	28	23

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施



#### 4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

##### (1) 被爆者手帳交付状況

表4- (1) 被爆者手帳交付状況 (単位：件)

年度 市町村	区分	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
平成28年度		23(2)	—	—	—	—	23(2)
平成29年度		23(2)	—	1	—	1	23(2)
平成30年度		19(2)	—	—	—	4	19(2)
館山市		9(1)	—	—	—	2	9(1)
鴨川市		5(1)	—	—	—	—	5(1)
南房総市		5(-)	—	—	—	2	5(-)
鋸南町		0(-)	—	—	—	—	0(-)

(注) ( ) は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

##### (2) 被爆者健康診断実施状況

表4- (2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年度	施設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
平成28年度	保健所	前期	25	12	48.0	5
		後期	25	10	40.0	3
	委託医療機関		—	2	—	3
平成29年度	保健所	前期	25	9	36.0	5
		後期	25	6	24.0	4
	委託医療機関		—	3	—	3
平成30年度	保健所	前期	21	8	38.1	4
		後期	21	6	28.6	2
	委託医療機関		—	2	—	1

(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総数		21	22	21
医療特別手当		1	1	1
特別手当		—	—	—
原子爆弾小頭症手当		—	—	—
健康管理手当		19	20	15
保健手当		1	1	1
介護手当		—	—	—
葬祭料		—	1	4
健康手当		20	21	16

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。

<生活衛生に関すること>

1 食品衛生事業

(1) 監視指導実施状況

表1-(1)-ア 許可を要する食品営業施設の状況

(単位：件)

年度・業種	区分	施設数	許可件数		不許可件数	廃業件数	監視件数	無許可件数	指導票交付	処 分 件 数						口頭説諭	
			継続	新規						許可取消	営業禁止	営業停止	改善	物品廃棄	その他		
平成28年度		4,216	509	332	-	352	4,311 (2,254)	-(-)	2(2)	-(-)	-(-)	2(-)	-(-)	-(-)	-(-)	1(1)	122(100)
平成29年度		4,180	552	277	-	313	4,329 (2,374)	-(-)	8(-)	-(-)	-(-)	8(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	11(1)
平成30年度		4,170	433	316	-	326	4,327 (2,372)	-(-)	1(-)	-(-)	-(-)	1(-)	-(-)	-(-)	( )	( )	3(-)
飲食店営業	一般食堂・レストラン等	765	81	45	-	37	743 (369)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	3(-)
	仕出し屋・弁当屋	162	14	18	-	11	213 (136)	-(-)	1(-)	-(-)	-(-)	1(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	旅館	384	51	5	-	25	416 (202)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	その他	1,129	109	123	-	119	995 (492)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	小計	2,440	255	191	-	192	2,367 (1,199)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
菓子(パンを含む)製造業		336	26	37	-	25	378 (228)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
乳処 理 業		4	1	-	-	-	11 (10)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
特別牛乳搾取処理業		-	-	-	-	-	- (-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
乳製品製造業		5	2	-	-	-	7 (5)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
集乳業		2	-	-	-	-	1 (1)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
魚介類販売業		300	34	27	-	28	336 (180)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	1(-)
魚介類せり売営業		14	2	-	-	-	29 (19)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
魚肉ねり製品製造業		4	1	1	-	-	5 (4)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
食品の冷凍又は冷蔵業		29	2	1	-	2	58 (45)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
缶詰又は瓶詰食品製造業		4	1	-	-	-	5 (5)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
喫茶店営業		191	25	11	-	19	136 (82)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
あん類製造業		4	-	-	-	-	6 (5)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
アイスクリーム類製造業		52	6	2	-	2	66 (45)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	1(1)
乳類販売業		328	34	18	-	24	358 (203)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
食肉処 理 業		13	1	-	-	1	19 (7)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
食肉販売業		199	19	19	-	19	213 (119)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
食肉製品製造業		3	1	-	-	-	4 (3)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
乳酸菌飲料製造業		1	-	-	-	-	3 (3)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
食用油脂製造業		2	-	-	-	-	- (-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
マーガリン又はショートニング製造業		-	-	-	-	-	- (-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
みそ製造業		22	2	-	-	-	28 (17)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
醬油製造業		1	1	-	-	-	1 (-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
ソース類製造業		4	-	-	-	2	6 (3)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
酒類製造業		6	1	-	-	-	8 (7)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
豆腐製造業		16	-	-	-	1	27 (20)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
豆納豆製造業		3	1	-	-	-	5 (2)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
めん類製造業		9	-	-	-	2	14 (8)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
そ  う ぎ い 製造業		156	15	9	-	9	210 (136)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
添加物製造業		1	-	-	-	-	2 (2)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
食品の放射線照射業		-	-	-	-	-	- (-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
清涼飲料水製造業		2	-	-	-	-	1 (1)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
氷雪製造業		11	3	-	-	-	15 (9)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
氷雪販売業		8	-	-	-	-	8 (4)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

出典：食品衛生事業報告書、(注)：( )内は食品機動監視課の再掲

表 1 - ( 1 ) - イ 許可を要しない食品関係営業施設の状況 (単位：件)

区分 年度・業種		施設 数	監視 件数	交指 導 付 票	処 分 件 数					口 頭 説 論
					営 業 禁 止	営 業 停 止	改 善	物 品 廃 棄	そ の 他	
平成 28 年度		2,510	2,619 (1,463)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	1(1)	10(2)
平成 29 年度		2,189	2,512 (1,450)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	3(-)
平成 30 年度		2,165	2,446 (1,363)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
給 食 施 設	学 校	4	7 (6)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	病 院 ・ 診 療 所	10	13 (12)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	事 業 所	1	4 (3)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	そ の 他	34	51 (17)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
小 計		49	75 (38)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
乳 搾 取 業		142	- (-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
食 品 製 造 業		60	87 (60)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
野 菜 果 物 販 売 業		184	232(146)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
そ う ざ い 販 売 業		332	406(249)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
菓 子 ( パ ン を 含 む ) 販 売 業		455	566(308)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	1 (-)
食 品 販 売 業 ( 上 記 以 外 )		564	677(373)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	1 (-)
添 加 物 ( 法 第 11 条 第 1 項 の 規 定 に よ り 規 格 の 定 め ら れ た も の を 除 く ) の 製 造 業		2	5 (5)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
添 加 物 販 売 業		158	195(111)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
氷 雪 採 取 業		-	- (-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
器 具 容 器 包 装 等 製 造 業 又 は 販 売 業		219	269(160)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	1 (-)

出典：食品衛生事業報告書，(注)：( )内は食品機動監視課の再掲

表 1 - ( 1 ) - ウ ふぐ営業施設の状況 (単位：件)

区分 年度・業種		施 設 数	認 証 件 数	不 認 証 件 数	廃 止 件 数	監 視 件 数	指 導 票 交 付	処 分 件 数					口 頭 説 論
								認 証 取 消	営 業 禁 止	営 業 停 止	措 置	そ の 他	
平成 28 年度		37	-	-	1	36(21)	-(-)	-	-	-	-	-	-(-)
平成 29 年度		39	2	-	-	50(32)	-(-)	-	-	-	-	-	-(-)
平成 30 年度		39	-	-	-	39(32)	-(-)	-	-	-	-	-	-(-)
飲 食 店 営 業		27	-	-	-	29(19)	-(-)	-	-	-	-	-	-(-)
魚 介 類 販 売 業		12	-	-	-	10(4)	-(-)	-	-	-	-	-	-(-)
水 産 加 工 ・ そ の 他		-	-	-	-	- (-)	-(-)	-	-	-	-	-	-(-)

出典：食品衛生事業報告書，(注)：( )内は食品機動監視課の再掲

## (2) 収去試験結果の状況

表1-(2)-ア 食品等の収去試験状況

(単位：件)

区 分 年度・収去品目		収去 検体 数	不 適 検体 数	不 適 理 由					
				細 菌 数	大 腸 菌 群	異 物	使 用 添 加 基 準 物	添 法 加 定 物 外	そ の 他
平成 28 年度		300(300)	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	1(1)
平成 29 年度		314(314)	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	1(1)
平成 30 年度		321(321)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
魚 介 類		23 (23)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
冷 凍 食 品	無加熱摂取冷凍食品	3 (3)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	凍結直前に加熱された加熱後摂取冷凍食品	4 (4)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	凍結直前に未加熱の加熱後摂取冷凍食品	12 (12)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	生食用冷凍鮮魚介類	- (-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	小 計	19 (19)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
魚 介 類 加 工 品 ( 缶 詰 ・ 瓶 詰 を 除 く )		11 (11)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
肉・卵類及びその加工品 ( 缶 詰 ・ 瓶 詰 を 除 く )		2 (2)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
乳 製 品		6 (6)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
乳類加工品 ( アイスクリーム類 を除き、マーガリンを含む )		- (-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
アイスクリーム類・氷菓		4 (4)	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	1(1)
穀類及びその加工品 ( 缶 詰 ・ 瓶 詰 を 除 く )		9 (9)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
野菜類果物及びその加工品 ( 缶 詰 ・ 瓶 詰 を 除 く )		60 (60)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
菓 子 類		68 (68)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
清 涼 飲 料 水		11 (11)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
酒 精 飲 料		- (-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
氷 雪		2 (2)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
水		- (-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
缶 詰 瓶 詰 食 品		2 (2)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
そ の 他 の 食 品		104(104)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
添 加 物	化学的合成品及びその製剤	- (-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	そ の 他 の 添 加 物	- (-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
器 具 及 び 容 器 包 装		- (-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
お も ち ゃ		- (-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
そ の 他		- (-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

出典：食品衛生事業報告書，(注)：( )内は食品機動監視課の再掲

表1-(2)-イ 乳類の収去試験の状況

(単位：件)

区分 年度・収去品目	収去 検 体 数	不 適 検 体 数	不 適 理 由							備 考	
			無 脂 乳 固 形 分	乳 脂 肪 分	比 重	酸 度	細 菌 数	大 腸 菌 群	そ の 他		
平成 28 年度	2(2)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	
平成 29 年度	2(2)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	
平成 30 年度	7(7)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	
生 乳	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	
牛 乳	6(6)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	
部 分 脱 脂 乳	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	
加 工 乳											
乳脂肪分 3%以上	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	
乳脂肪分 3%未満	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	
そ の 他	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	

(注)：( )内は食品機動監視課の再掲

表1-(2)-ウ 簡易検査実施状況

(単位：件)

区分 年 度	実 施 検 体 数					不 適 検体数
	計	食 品	容 器 包 装	水	その他	
平成 28 年度	202(109)	-(-)	- (-)	202(109)	-(-)	-(-)
平成 29 年度	241(136)	-(-)	- (-)	241(136)	-(-)	-(-)
平成 30 年度	192(116)	-(-)	- (-)	192(116)	-(-)	2(2)

(注)：( )内は食品機動監視課の再掲

(3) 違反食品等発見状況

表1-(3) 違反食品等発見状況

(単位：件)

区分 年度・条項	県 内 産	県 外 産	計	処 置				
				廃 棄	再 生 転 用	適 正 改 善	返 品 回 収	在 庫 な し
平成28年度	1(1)	-(-)	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	1(1)
平成29年度	1(1)	-(-)	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
平成30年度	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
6条1号(腐敗・変敗)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
2号(有毒・有害)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
3号(病原微生物)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
4号(不潔・異物)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
小計	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
10条(販売等)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
11条2項(基準・規格)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
11条3項(農薬等)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
19条2項(表示)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
食品表示法第5条	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

(注) ( )内は食品機動監視課の再掲

(4) 食中毒発生状況

表1-(4) 食中毒発生状況

(単位：件)

区分 年度	発 生 数	患 者 数	死 亡 数	原因食品			病 因 物 質						備 考
				弁 当	そ の 他	不 明	ノ ロ ウ イ ル ス	黄 色 ブ ド ウ 球 菌	ウ エ ル シ ユ 菌	大 腸 菌 腸 管 侵 入 性	大 腸 菌 腸 管 出 血 性	ア ニ サ キ ス	
平成28年度	1	49	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
平成29年度	8	281	-	2	6	-	3	1	1	1	-	2	
平成30年度	1	18	-	1							1	-	
(原因施設)	飲食店(館山市(1件))												

(5) 食品関係苦情処理状況

表1 - (5) 食品関係苦情処理状況

(単位：件)

区分 年度・分類	総 数	原 因							
		異 物 混 入	腐 敗 変 敗	異 味 異 臭	カ ビ 発 生	食 品 の 取 扱	施 設 の 衛 生	表 示	そ の 他
平成28年度	34(1)	6(-)	-(-)	2(-)	-(-)	8(-)	5(-)	1(-)	12(-)
平成29年度	18(-)	4(-)	-(-)	-(-)	-(-)	6(-)	-(-)	2(-)	6(-)
平成30年度	21(5)	1(-)	-(-)	1(1)	-(-)	6(2)	4(-)	1(1)	8(7)
魚介類及びその加工品	2(1)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	1(1)	1(-)
肉卵類及びその加工品	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
乳類及びその加工品	1(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	1(-)	-(-)	-(-)	-(-)
穀類及びその加工品	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
野菜・果物類及びその加工品	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
菓 子 類	-(-)	(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
清涼飲料水	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
その他の食品	3(2)	1(-)	-(-)	1(1)	-(-)	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)
施 設	15(2)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	4(4)	4(-)	-(-)	7(7)

(注)：( )内は食品機動監視課の再掲

(6) 免許資格等の交付届出状況

表1 - (6) -ア 製菓衛生師及びふぐ処理師免許交付状況

(単位：件)

区分 免許	名簿登録数	交付	転入	返納	転出	再交付	書 交	換 付
製菓衛生師	190	2	-	-	-	-	-	-
ふぐ処理師	180	-	1	-	-	-	-	-

表1 - (6) -イ 食品衛生管理者及び食品衛生責任者届出状況 (単位：件)

区分 資格	現 員 総 数	要 許 可 施 設	不 要 許 可 施 設
食品衛生管理者	4	4	-
食品衛生責任者	3,934	3,877	57



## (7) 衛生教育実施状況

表1-(7) 衛生教育実施状況 (単位: 件・人)

対 象 者	回 数	受 講 者 数
消 費 者	7(-)	380(-)
食 品 等 事 業 者	38(7)	2,344(309)

(注): ( )内は食品機動監視課の再掲

## (8) 監視現場測定実施状況

表1-(8) 監視現場測定実施状況 (単位: 件)

区 分 年度・測定項目	実 施 施 設 数	測 定 数	不 適 数
平 成 28 年 度	296(105)	670(305)	13(2)
平 成 29 年 度	257(122)	741(395)	13(2)
平 成 30 年 度	251(118)	813(437)	2(2)
温 度	134 (56)	521(331)	2(2)
照 度	117 (62)	292(126)	-(-)
紫 外 線 照 射	- (-)	- (-)	-(-)
そ の 他	- (-)	- (-)	-(-)

(注): ( )内は食品機動監視課の再掲

## 2 狂犬病予防事業及び動物愛護管理事業

### (1) 犬による侵害防止対策

表2-(1)-ア 捕獲・返還及びこう傷事故件数 (単位：件)

区分 年度・市町村別	捕獲頭数	返還頭数	こう傷事故件数				
			総数	飼い犬			飼い主不明犬
				計	登録犬	未登録犬	
平成28年	58	32	10	10	8	2	0
平成29年	38	25	6	6	5	1	0
平成30年	31	18	1	0	1	0	0
館山市	12	12	0	0	0	0	0
鴨川市	5	0	1	0	1	0	0
南房総市	13	6	0	0	0	0	0
鋸南町	1	0	0	0	0	0	0
管外	0	0	0	0	0	0	0

表2-(1)-イ こう傷事故発生時の状況 (単位：件)

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		(発生被害者の状況)	犬に手を出した	2
	係留しようとした	2	0	0
	配達訪問等の際	2	3	0
	通行中	4	2	0
	遊戯中	0	0	0
	その他	0	1	1
(発生場所)	犬舎等の周辺	6	3	0
	公共の場所	4	3	1
	その他	0	0	0

表 2 - ( 1 ) - ウ 行政措置状況

(単位：件)

年度 ・市町村別	行政措置		
	告 発	措置命令	始末書
平成 28 年度	-	-	35
平成 29 年度	-	-	28
平成 30 年度	-	-	16
館 山 市	-	-	11
鴨 川 市	-	-	0
南 房 総 市	-	-	5
鋸 南 町	-	-	0
管 外	-	-	0

## (2) 動物愛護管理事業

表 2 - ( 2 ) - ア 動物の飼養に関する指導・助言状況

(単位：件)

年度・動物名	件数	内 訳 ( 重 複 あ り )								
		譲渡	去勢	不妊	疾病	飼方	引取り	逸走	死亡	注登 射録
平成 28 年度	2412	288	508	440	598	229	169	24	156	-
平成 29 年度	1727	175	351	309	438	183	106	38	88	20
平成 30 年度	1031	102	164	92	288	157	89	21	66	52
犬	331	16	11	8	121	24	68	1	65	17
猫	673	86	153	83	165	133	20	11	1	21
その他	27	0	0	1	2	0	1	9	0	14

表 2 - ( 2 ) - イ 動物による苦情届出状況

(単位：件)

年度・動物名	件数	内 訳 ( 重 複 あ り )					
		農作物・ 家畜	住居・ 庭園	捕獲依頼	鳴き声	汚物悪臭	その他
平成 28 年度	267	69	77	75	10	25	11
平成 29 年度	232	39	47	80	23	30	24
平成 30 年度	229	2	37	94	12	53	31
犬	83	1	3	52	9	8	10
猫	133	1	32	42	2	44	12
その他	13	0	2	0	1	1	9

表 2 - ( 2 ) - ウ 犬・猫の引取り・負傷動物の収容状況 (単位：頭)

年度 ・市町村別	区分	犬・猫の引取り数			負傷動物収容数			
		計	犬	猫	計	犬	猫	その他
平成 28 年度		173	8	165	22	1	21	0
平成 29 年度		196	5	191	14	1	13	0
平成 30 年度		178	33	145	15	1	14	0
館山市		55	0	55	6	1	5	0
鴨川市		46	10	36	1	0	1	0
南房総市		43	0	43	7	0	7	0
鋸南町		34	23	11	1	0	1	0
管 外		0	0	0	0	0	0	0

表 2 - ( 2 ) - エ 第一種動物取扱業登録及び立入検査状況 (単位：件)

年度 ・市町村別	業 種	事業所数	業 種 別 登 録						立入検査 件数	
			販売	保管	貸出し	訓練	展示	あつせん 競り		譲受飼養
平成 28 年度		70	39	33	1	7	7	-	-	27
平成 29 年度		72	38	35	1	7	8	-	-	50
平成 30 年度		71	35	37	1	6	8	-	-	23
館山市		27	11	18	0	1	4	-	-	4
鴨川市		21	9	13	1	3	1	-	-	10
南房総市		21	14	5	0	2	2	-	-	8
鋸南町		2	1	1	0	0	1	-	-	1

表 2 - ( 2 ) - オ 第二種動物取扱業届出及び立入検査状況 (単位：件)

年度 ・市町村別	業 種	事業所数	業 種 別 届 出 数					立入検査 件数	
			譲渡し	保管	貸出し	訓練	展示		その他
平成 28 年度		4	2	-	-	-	2	-	2
平成 29 年度		4	2	-	-	-	2	-	4
平成 30 年度		4	2	-	-	-	2	-	2
館山市		1	-	-	-	-	1	-	1
鴨川市		-	-	-	-	-	-	-	-
南房総市		1	-	-	-	-	1	-	1
鋸南町		2	2	-	-	-	-	-	-

表 2 - ( 2 ) - カ 特定動物の飼養及び保管の許可数及び立入検査状況 (単位：件)

科目 年度 ・市町村別	総 数	動物種別内訳			立 入 検 査 件 数
		哺乳綱	鳥綱	爬虫綱	
		ニホンザル	-	ワニガメ	
平成 28 年	2	2	-	1	
平成 29 年	2	2	-	-	2
平成 30 年	2	2	-	-	2
館山市	1	1	-	-	2
鴨川市	-	-	-	-	-
南房総市	1	1	-	-	0
鋸南町	-	-	-	-	-

表 2 - ( 2 ) - キ 多頭飼養の届出状況 (単位：件)

年度	届出 施設 数	飼養頭数別内訳				調査件数 合計	現地調 査件数	立 入 検 査 数
		10~30	31~60	61~90	91~			
平成 28 年度	12	11	0	1	0	18	4	14
平成 29 年度	19	18	0	1	0	53	50	3
平成 30 年度	23	23	0	0	0	64	6	58

(注) 届出施設数は、10頭以上の犬又は猫を飼養する届出済施設の総数を指す。

表 2 - ( 2 ) - ク 動物愛護教育実施状況

事業名	実施主体	実施回数	内 容	受講者数
動物愛護教室	安房保健所	2	動物愛護精神の啓発	41

(参考) 犬の登録・狂犬病予防注射等の実施状況 (単位：件)

区分 年度・市町村別	原簿保有数	登録申請数	注射済票交付数		
			計	集合	個別
平成 28 年度	7548	353	6268	3702	2566
平成 29 年度	7141	374	5994	3414	2580
平成 30 年度	6735	349	5667	3208	2459
館山市	2150	125	1779	843	936
鴨川市	1833	102	1538	1002	536
南房総市	2296	94	2042	1169	873
鋸南町	456	28	308	194	114

(注)：犬の登録・狂犬病予防注射に係る事務は、平成12年度から市町村に権限移譲。

### 3 環境衛生事業

#### (1) 生活衛生関係営業施設監視指導事業

表3-(1)-ア 施設数及び立入検査件数等の状況 (単位：件)

区 分		施 設 数	許 認 可 件 数	廃 止 件 数	対 前 年 度 増 減	立 入 検 査 件 数
平成28年度		1,290	46	53	△ 8	1,160
平成29年度		1,264	28	54	△ 26	1,029
平成30年度		1,237	36	63	△ 27	990
理 容 所		196	-	3	△ 3	120
美 容 所		308	7	9	△ 2	204
ク リ ー ニ ン グ 所	小 計	78	-	4	△ 4	59
	洗場・仕上場	29	-	1	△ 1	22
	取次所	49	-	3	△ 3	37
旅 館	小 計	568	29	45	△ 16	506
	旅館・ホテル	248	3	17	△ 14	256
	簡易宿所	320	26	28	△ 2	250
	下 宿	-	-	-	-	-
公 衆 浴 場	小 計	84	-	1	△ 1	98
	一般公衆浴場	-	-	-	-	-
	その他の公衆浴場	84	-	1	△ 1	98
興 行 場		3	-	1	△ 1	3

(注) 1 理容所・美容所の( )は移動理容所, 移動美容所の再掲

2 取次所の( )は無店舗取次所の再掲

表 3 - ( 1 ) - イ 市町村別の施設数

(単位：件)

管 轄	区分 市町村別	理 容 所	美 容 所	クリーニング所			旅館				公衆浴場			興 行 場	施 設 数	対 前 年 度 増 減
				小 計	洗 場 ・ 仕 上 場	取 次 所	小 計	旅 館 ・ ホ テ ル	簡 易 宿 所	下 宿	小 計	一 般 公 衆 浴 場	そ の 他 公 衆 浴 場			
	総 数	196	308	78	29	49	568	248	320	-	84	-	84	3	1237	△27
	館山市	69	131	40	14	26	161	88	73	-	18	-	18	1	420	△4
	鴨川市	49	76	17	7	10	127	66	61	-	38	-	38	1	308	△2
	南房総市	64	84	16	6	10	248	81	167	-	25	-	25	1	438	△25
	鋸南町	14	17	5	2	3	32	13	19	-	3	-	3	-	71	△2

(注) ( ) は前表の (注) 1, 2 と同じ

表 3 - ( 1 ) - ウ 衛生講習会実施状況

業種 年度	理 容		美 容		ク リ ー ニ ン グ		旅 館		公 衆 浴 場	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
平成 2 8 年度	2	123	-	-	-	-	6	266	-	-
平成 2 9 年度	2	121	1	28	-	-	10	651	2	58
平成 3 0 年度	2	121	1	43	-	-	8	635	-	-

表 3 - ( 1 ) - エ 旅館業無許可営業立入検査の状況

区 分	立入検査件数
平成 2 8 年度	0
平成 2 9 年度	1
平成 3 0 年度	0

(2) 住宅民泊事業監視指導事業

表3-(2) 施設数及び立入検査件数の状況

区 分	施設数	立入検査件数
平成28年度	-	-
平成29年度	-	-
平成30年度	18	0

(3) 化製場等施設監視指導事業

表3-(3) 施設数及び立入検査件数等の状況 (単位：件)

区 分	施設数	許可件数	廃止件数	対前年度 増減	立入検査 件数
平成28年度	20	2	2	-	22
平成29年度	18	1	3	△2	20
平成30年度	18	1	1	-	15
化 製 場	-	-	-	-	-
魚介類・鳥類等 製造貯蔵施設	-	-	-	-	-
死亡獣畜取扱場	1	-	-	-	1
畜舎・家きん舎	17	1	1	-	14
死亡獣畜取扱場以外処理	-	-	-	-	-



## (4) 水質管理事業

表3-(4)-ア 水道施設数及び立入検査件数等の状況 (単位: 件)

区分 年度・種別	施設数	確認・届出 件数	廃止件数	対前年度 増減	立入検査 件数
平成28年度	20	-	-	-	5
平成29年度	20	-	-	-	5
平成30年度	19	-	1	△1	5
水道事業	3	-	-	-	3
用水供給	-	-	-	-	-
上水道	3	-	-	-	3
簡易水道	-	-	-	-	-
専用水道	-	-	-	-	-
自己水源	-	-	-	-	-
浄水受水	-	-	-	-	-
簡易専用水道	14	-	-	-	-
20m <sup>3</sup> を超えるもの	9	-	-	-	-
10m <sup>3</sup> を超え20m <sup>3</sup> まで	5	-	1	△1	-
小規模水道	2	-	-	-	2
小規模専用水道	-	-	-	-	-
小規模簡易専用水道	2	-	-	-	2

(注) 簡易専用水道の立入検査数は厚生労働大臣登録機関からの緊急通報により実施した件数を含む

表3-(4)-イ 簡易専用水道管理状況検査受検状況 (単位：件)

区分		施設数	検査数	検査率(%)
年度				
平成28年度		15	6	40
内訳	20m <sup>3</sup> を超えるもの	9	3	33
	10m <sup>3</sup> を超え20m <sup>3</sup> まで	6	3	50
平成29年度		15	7	47
内訳	20m <sup>3</sup> を超えるもの	9	2	22
	10m <sup>3</sup> を超え20m <sup>3</sup> まで	6	5	83
平成30年度		14	7	50
内訳	20m <sup>3</sup> を超えるもの	9	2	22
	10m <sup>3</sup> を超え20m <sup>3</sup> まで	5	5	100

(注) 検査は厚生労働大臣登録機関が実施

表3-(4)-ウ 衛生講習会実施状況

年度	回数	人数	対象
平成28年度	-	-	
平成29年度	-	-	
平成30年度	-	-	

(5) 建築物の衛生的環境の確保に関する事業

表3-(5)-ア 特定建築物数及び立入検査件数等の状況 (単位:件)

年度・区分	施設数	届出件数	非該当届出件数	対前年度増減	立入検査件数
平成28年度	46(7)	-	1	△1	40(1)
平成29年度	46(7)	-	-	-	39(1)
平成30年度	45(7)	-	1	△1	38(1)
興行場	1(1)	-	-	-	1(1)
百貨店	-	-	-	-	-
店舗	8	-	-	-	8
もっばら事務所	1(1)	-	-	-	-
その他の事務所	1	-	-	-	1
学校	1(1)	-	-	-	-
旅館	32(4)	-	1	△1	27
集会場	-	-	-	-	-
図書館	-	-	-	-	-
博物館	-	-	-	-	-
美術館	-	-	-	-	-
遊技場	1	-	-	-	1

(注) ( ) 内は、国又は地方公共団体が公用又は公共の用に供するものの再掲

表 3 - ( 5 ) - イ 建築物管理事業の登録及び立入検査件数等の状況 (単位：件)

業種	総 数	建 築 物 清 掃 業	建 築 物 空 気 環 境 測 定 業	建 築 物 空 気 調 和 用 ダ ク ト 清 掃 業	建 築 物 飲 料 水 水 質 検 査 業	建 築 物 飲 料 水 貯 水 槽 清 掃 業	建 築 物 排 水 管 清 掃 業	建 築 物 ね ず み ・ こ ん 虫 等 防 除 業	建 築 物 環 境 衛 生 総 合 管 理 業
平成 2 8 年度	24	6	2	-	-	12	1	3	-
平成 2 9 年度	25	7	2	-	-	12	1	3	-
平成 3 0 年度	26	7	2	-	-	12	1	4	-
新規登録	3	-	-	-	-	-	-	1	-
登録更新	9	4	1	-	-	5	-	1	-
登録廃止	2	-	-	-	-	-	-	-	-
立入検査件数	20	8	3	-	-	14	1	4	-

( 6 ) 遊泳用プールに関する事業

表 3 - ( 6 ) 遊泳用プール施設数及び調査指導件数 (単位：件)

区 分	総 施 設 数	営 業 用	事 業 用	そ の 他
平成 2 8 年度	29 ( 7 )	25 ( 6 )	1 ( 1 )	3 ( - )
平成 2 9 年度	29 ( 7 )	25 ( 6 )	1 ( 1 )	3 ( - )
平成 3 0 年度	28 ( 7 )	24 ( 6 )	1 ( 1 )	3 ( - )
調査指導件数	24 ( 7 )	21 ( 6 )	1 ( 1 )	2 ( - )

(注) ( ) 内、通年プールの施設数及び調査指導件数の再掲

(7) 温泉法関係施設監視指導事業

表3-(7)-ア 温泉掘削許可等の件数及び立入検査件数等の状況(単位:件)

年 度	掘 削 許 可	動 力 許 可	可燃性天然ガス		利 用 施 設			
			採 取 許 可	確 認	施 設 数	許 可	廃 止	立 入 検 査 件 数
平成 28 年度	1	1	-	2	118	2	3	138
平成 29 年度	1	-	-	2	116	6	8	142
平成 30 年度	1	1	-	-	112	4	6	129

表3-(7)-イ 温泉利用施設の状況

No.	温 泉 地 名	利用施設数	泉 質
1	不老山薬師温泉	1	メタけい酸及び炭酸水素ナトリウムの項で適合
2	正木温泉	2	メタけい酸の項で適合
3	南館山温泉	1	メタけい酸の項で適合
4	人魚の湯	1	ナトリウム-塩化物泉
5	神河鉱泉	2	ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物泉
6	館山湯元温泉	1	ナトリウム-塩化物泉
7	龍神の湯	1	メタけい酸の項で適合
8	しおさい温泉くろしおの湯	1	メタけい酸と炭酸水素ナトリウムの項で適合
9	館山市洲宮温泉	2	ナトリウム-炭酸水素塩冷鉱泉の項で適合
10	横山鉱泉	1	メタけい酸と炭酸水素ナトリウムの項により冷鉱泉に適合
11	たてやま平砂浦温泉	2	メタほう酸とメタけい酸の項で適合
12	洲の崎温泉	1	ナトリウム-塩化物泉
13	城山温泉	1	ナトリウム-塩化物強塩冷鉱泉
14	休暇村館山温泉	1	ナトリウム-塩化物強塩温泉
15	館山塩見温泉「こがねの湯」	3	ナトリウム-塩化物冷鉱泉
16	千里の湯 温泉	2	ナトリウム-炭酸水素塩泉
17	白亀温泉	2	ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩冷鉱泉
18	休暇村館山温泉第2号井	5	ナトリウム-塩化物冷鉱泉
19	鏡ヶ浦温泉	1	ナトリウム-塩化物泉

20	たてやま鏡ヶ浦温泉	2	ナトリウム-塩化物冷鉱泉
21	岩婦温泉	1	単純硫黄泉
22	小浦弁天温泉	2	含硫黄-カルシウム・マグネシウム・ナトリウム-炭酸水素塩・硫酸塩泉
23	岩井温泉大謙館	1	ナトリウム-塩化物泉
24	岩井湯元温泉	1	ナトリウム-塩化物泉
25	南房総岩井温泉	1	メタけい酸の項で適合
26	きらめきの湯	1	ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物鉱泉
27	白浜温泉	1	ナトリウム-塩化物泉
28	白浜元湯温泉	1	ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩泉
29	白浜女来島温泉	1	メタけい酸の項で適合
30	白浜野嶋温泉	1	ナトリウム-塩化物泉
31	南房総白浜温泉	1	重炭酸そうだ及びメタけい酸の項で適合
32	房総白浜温泉	2	メタけい酸の項で適合
33	相生の湯	1	ナトリウム・カルシウム-塩化物冷鉱泉
34	白浜南国温泉	2	メタけい酸の項で適合
35	千倉温泉	1	含硫黄-ナトリウム-塩化物泉
36	しあわせ温泉	1	ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩泉
37	千倉海岸温泉	1	ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩冷鉱泉
38	千倉元湯温泉	1	ナトリウム-塩化物泉
39	千倉海底温泉	1	ナトリウム-塩化物冷鉱泉
40	矢原温泉	1	ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物・硫酸塩冷鉱泉
41	北三原温泉	1	ナトリウム-塩化物泉
42	安房温泉元湯	1	ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩泉
43	安房温泉分湯	2	ナトリウム-塩化物強塩泉
44	房州大福温泉	1	ナトリウム・カルシウム-硫酸塩・炭酸水素塩泉
45	笑楽の湯	1	ナトリウム-塩化物泉
46	鴨川泉寿の湯	2	アルカリ性単純硫黄冷鉱泉
47	太海湯元温泉	1	含硫黄-ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物冷鉱泉
48	栗斗温泉	1	単純硫黄冷鉱泉
49	江見泉寿の湯	1	含硫黄-ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩冷鉱泉
50	鴨川温泉潮騒の湯	3	ナトリウム-塩化物泉
51	鴨川温泉	1	メタけい酸及び重炭酸そうだの項で適合

52	鴨川温泉「なぎさの湯」	20	含硫黄-ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩冷鉱泉
53	小湊温泉	2	ナトリウム-塩化物強塩泉
54	小湊実入温泉	7	ナトリウム-塩化物泉
55	天津小湊温泉 城崎の湯	3	ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物・硫酸塩冷鉱泉
56	天津小湊温泉	2	メタけい酸，炭酸水素ナトリウムの項で適合
57	小湊温泉願満の湯	4	メタけい酸，重炭酸そうだの項で適合
58	白岩温泉	1	総硫黄，メタけい酸，メタほう酸の項で適合
59	内浦山温泉 蔵の湯	2	メタけい酸の項で適合

(8) 感染症対策

表3-(8) 感染症対策調査の状況 (単位：件)

区 分	調 査 数
平成28年度	19
平成29年度	19
平成30年度	7

(9) 浄化槽指導事業

表3-(9) 浄化槽設置の状況 (単位：件)

区 分	設置に係る通知の受理
平成28年度	377
平成29年度	368
平成30年度	389

## (10) 苦情及び相談事業

表3-(10) 苦情及び相談等の状況

(単位：件)

区 分 種 別	平成28年度	平成29年度	平成30年度	処 理 件 数	
				直接処理	他へ移送
総 数	140	203	155	155	-
住居内空気環境	2	-	-	-	-
水道施設	-	-	-	-	-
飲用井戸	28	40	5	5	-
衛生害虫	9	17	7	7	-
生活衛生関係 営業施設	99	144	142	142	-
そ の 他	2	2	1	1	-



